

令和4年度
小学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

図画工作科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

図画工作科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小学校)

1 題材の概要

学 年：第6学年

題 材 名：「ドリームプロジェクト」8時間扱い

題材の目標：未来の町や学校をイメージし、プログラミングソフトの機能を生かして表したいことを見付け、形や色、表現に適した方法などを組み合わせて表現するとともに、自分たちの作品の造形的なよさや美しさなどについて鑑賞する。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・プログラミングソフトの機能を生かすことにより、工作の学習における表現の可能性を広げることができます。
- ・プログラミングソフトを活用して工作をしたり、作品やプログラムを修正したりすることにより、図画工作科の学びで大切となる「つくり、つくりかえ、つくる」という過程を経験することができます。

3 使用したソフトや機能

- ・学習支援ソフト
- ・プログラミングソフト
- ・カメラ機能

【参考資料】

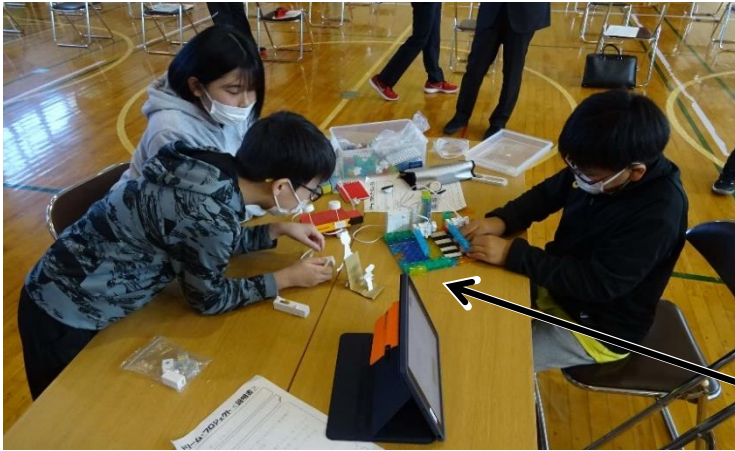
- ・小学校を中心としたプログラミング教育ポータル
工作の学習においてプログラミングを活用した実践例
(文部科学省)



図画工作科における 1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小学校)

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】



〔プログラミングソフトの機能を生かして表現の可能性を広げる〕

- ・ 光が灯る、音が出る、モーターが回るなどのプログラミングソフトの機能を生かすことにより、工作の学習における表現の可能性が広がり、児童個々のイメージを表しやすくなります。
- ・ プログラミングを取り入れることにより、試行錯誤しながら作品を制作することが容易になり、様々な表現の工夫を体験できます。

【ICTの活用場面②】



〔クラウドサービスの共有機能を生かして学びを深める〕

- ・ クラウドサービスの共有機能を生かして、友達とアドバイスを伝え合い、作品の改善を図ることにより、「つくり、つくりかえ、つくる」という学びの過程を経験することができます。
- ・ 友達の作品に幅広く触れることにより、豊かな発想や造形に対する客観的な見方が育まれます。

図画工作科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

図画工作科において、コンピュータ、カメラなどの情報機器を活用する際は、表現や鑑賞の活動で使う用具の一つとして扱うとともに、必要性を十分に検討して活用することが大切です。

① 「A表現」の指導におけるICT活用の考え方

「A表現」におけるICT活用として、材料や用具の扱いについて、写真や動画で確かめることが考えられます。ICT端末を用いることにより、繰り返し見たり、細部を拡大して見たりすることができます。

また、活動の過程や作品をICT端末のカメラ機能を使って撮影し、クラウドなどに保存して、振り返りの学習に活用したり、撮影した画像や動画を大型モニターに映して発表したりするなどの活用が考えられます。

② 「B鑑賞」の指導におけるICT活用の考え方

「B鑑賞」におけるICT活用として、インターネットなどを用いて美術作品についての情報を収集したり、生活の中の造形をICT端末などで撮影し、話し合う際の資料としたりすることが考えられます。

また、活動の過程や作品をカメラ機能を使って撮影し、クラウドなどに保存して、自分の表し方の変化を振り返ったり、感じたことや考えたことを友人と共有したりすることなどが考えられます。

【参考資料】

- ・小学校図画工作科の指導におけるICTの活用について
(文部科学省)



【スライド資料】



【解説動画】